# 那須 英二 議員
## 日本共産党弥富市議団

# 問 今後の公共交通をどうするか？

# 答 現状の制度を維持していく

**問** 市の交通網がない市内の病院などへ、どのようにして行けばよいか。

**答** 民生部長　全て公的な福祉サービスで、対応することは不可能である。

**問** ささえあいセンターは送迎可能なのか。

**答** 介護高齢課長　協力会員が利用者を乗せて運ぶことはしていない。

**問** タクシーは高過ぎて使えない、バス停が近くにない方をどのようにして交通難民から救済していくのか。

**答** 民生部長　限られた財源のもと、持続可能な福祉施策で、増加した高齢者に対応する。

**問** オンデマンドバスやタクシーの調査や検討はどうなっているか。

**答** 総務部長　調査結果を踏まえ、運行経費効率化を図り、現在の運行を継続していく。

**問** タクシーチケットの改善は考えているか。

**答** 民生部長　今年度分の利用数を集計し、検証したい。

**問** 小回りのきく福祉バスや、必要な方へのタクシーパスを検討してはどうか。

**答** 民生部長　現状制度を維持する。

**問** 屋上避難場所に防災倉庫を

**答** 施設ごとの方法を研究していく

**問** 屋上避難場所には、日を避ける場所も雨風を防ぐものもなく、一時的にとは言え救助まで耐えなければならないが不十分ではないか。

**答** 総務部長　一時的な避難場所は、一時的に命を守り、緊急避難のための一時滞在、一時利用と考えている。

**問** 一時避難場所にも、ある程度の備えが必要と考えるがどうか。

**答** 総務部長　避難場所である学校、保育所には、乾パンや飲料水などを備蓄している。今後、施設ごとの方法を考えていく。

**問** 一時避難場所へ避難する場合、「誰が」「どこへ」などのマニュアルの検討は。

**答** 総務部長　27年4月に「弥富市防災ガイドブック」を各世帯に配布している。

▲十四山保育所での屋上への避難訓練の模様